

ラグビーワールドカップ2019™等

及びその後に向けた 豊田市ビジョン



「とよたビジョン」 事業実績一覧



豊田市

2020年2月作成



構成

柱① まちを元気に！

- 区分1 見る・参加する・関わることで大会を身近に感じる
- 区分2 大会期間中をはじめとする交流機会の創出

柱② ひとが活躍！

- 区分1 国際交流を推進する人材及びボランティアの育成
- 区分2 スポーツ推進・健康づくり
- 区分3 学校現場での意識の醸成
- 区分4 市民等の意識の醸成

柱③ まちが変わる！

- 区分1 まちの魅力向上
- 区分2 「アートにあふれたまち」の推進
- 区分3 安全・安心・快適なまちの推進

柱④ まちを魅せる！

- 区分1 シティプロモーション
- 区分2 未来を先取る活力ある都市の発信
- 区分3 観光プロモーションの推進
- 区分4 大会期間中のおもてなし推進

※RWC2019等：RWC2019（「ラグビーワールドカップ2019」の略称）および東京2020（「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の略称）を指す。

ビジョンの柱① まちを元気に！

区分1 見る・参加する・関わることで大会を身近に感じる

事業名（所属）	事業概要	実績
<p>RWC2019愛知・豊田開催支援委員会によるプロモーション、開催準備及び大会運営（ラグビーワールドカップ2019推進課）</p>	<p>愛知県と豊田市で開催支援組織を設置し、大会のPRやビッグマッチの実施などにより機運醸成を図るとともに、大会に向けた会場準備及び各種計画策定を行い、円滑な大会運営を行う。</p>	<p>【試合（ビッグマッチ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○愛知・豊田ラグビーファンゾーン <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年6月23日、豊田スタジアムで開催されたラグビー日本代表戦に併せてスカイホール豊田で実施 ・大会に向けてファンゾーン及びパークアンドバスライドの試行を実施し、延べ12,459人が来場 ・市内の全小・中・特別支援学校を対象に、希望した児童生徒をラグビー日本代表戦に招待 ○愛知・豊田ラグビーフェスタ <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度から令和元年度の間、年1回（計4回）豊田スタジアムで実施 ・平成28年度、29年度にはトヨタ自動車ヴェルブリッツと海外のクラブチームの試合を実施 ○ファンゾーン <ul style="list-style-type: none"> ・大会期間中にスカイホール豊田で10日間実施 ・パブリックビューイングやステージイベントを実施し、延べ60,432人が来場 <p>【大会開幕に向けた節目イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1,000日前、500日前、100日前等の節目イベントを実施

ビジョンの柱① まちを元気に！

区分1 見る・参加する・関わることで大会を身近に感じる

事業名（所属）	事業概要	実績												
<p>RWC2019におけるおもてなしイベントの実施 （経営戦略課、ラグビーワールドカップ2019推進課）</p>	<p>大会開催時に外国人を含む来訪者に対し、愛知県・豊田市の産品や産業、観光などをPRするイベントを、市民の参画を得て実施し、大会を盛り上げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試合開催日に実施 ・ 行政、民間の様々な団体が飲食物等の販売や体験イベント、ステージイベントを実施 ・ 延べ107,300人が来場 ・ 「とよしば」で行われたステージイベントでは、豊田市の市民団体15団体がパフォーマンスを実施 ・ 令和元年9月20日から10月11日の間で、「イタリア・ニュージーランドラグビー博物館 特別展」を松坂屋豊田店で実施し、延べ13,000人が来場 ・ 大会期間中に豊田市美術館で開催された「クリムト展 ウィーンと日本1900」と連携して大会のPRを実施 ・ 観戦客へのおもてなしとして、豊田参合館の壁面装飾やとよたおいでんバス（3台）のラッピングを実施 ・ おもてなしイベントの実施場所は以下のとおり <table border="1" data-bbox="1451 858 2036 1126"> <thead> <tr> <th>実施場所</th> <th>イベント名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とよしば</td> <td>「おもてなしステージ」</td> </tr> <tr> <td>GAZA南広場 駅前通り</td> <td>「WELCOMEとよたフェスタ」 「Toyota Street Market」&「Bear & Farm Toyota」 （上記の2つのイベントを日替わりで実施）</td> </tr> <tr> <td>駅東ロータリー</td> <td>「出張エコフルタウン」</td> </tr> <tr> <td>豊田参合館</td> <td>「まるごとよた展」 「おいでんアートおもてなしフェア2019」</td> </tr> <tr> <td>矢作川河川敷</td> <td>「矢作川フェスタ」</td> </tr> </tbody> </table>	実施場所	イベント名	とよしば	「おもてなしステージ」	GAZA南広場 駅前通り	「WELCOMEとよたフェスタ」 「Toyota Street Market」&「Bear & Farm Toyota」 （上記の2つのイベントを日替わりで実施）	駅東ロータリー	「出張エコフルタウン」	豊田参合館	「まるごとよた展」 「おいでんアートおもてなしフェア2019」	矢作川河川敷	「矢作川フェスタ」
実施場所	イベント名													
とよしば	「おもてなしステージ」													
GAZA南広場 駅前通り	「WELCOMEとよたフェスタ」 「Toyota Street Market」&「Bear & Farm Toyota」 （上記の2つのイベントを日替わりで実施）													
駅東ロータリー	「出張エコフルタウン」													
豊田参合館	「まるごとよた展」 「おいでんアートおもてなしフェア2019」													
矢作川河川敷	「矢作川フェスタ」													

ビジョンの柱① まちを元気に！

区分2 大会期間中をはじめとする交流機会の創出

事業名（所属）	事業概要	実績
<p>RWC2019公認チームキャンプの受入れと交流事業 （ラグビーワールドカップ2019推進課）</p>	<p>大会期間中の公認チームキャンプ地（ウェールズ、ナミビア、イタリア）として、チームの受入れを行うとともに、市民との国際交流等の場を提供する。</p>	<p>○フレンドシップ校事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度、市内の全小・中・特別支援学校を対象に実施 ・各学校が豊田スタジアムで試合を行う海外チームの7か国から1国を選び、応援寄書や千羽鶴を作成 ・作成された応援寄書や千羽鶴は各チームの練習会場で披露 <p>○地域交流イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年9月にウェールズ代表が崇化館中学校を、10月にイタリア代表が童子山小学校を訪問 ・児童生徒による国歌の斉唱など歓迎の気持ちを表すおもてなしや、ラグビー体験等を通じた選手との交流事業を実施 <p>○イタリアフェア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年10月6日、在日イタリア商工会議所と連携して豊田市駅前で開催し、延べ2,000人が来場 ・会場では、来場者とイタリア代表選手が写真撮影等を通じて交流

ビジョンの柱① まちを元気に！

区分2 大会期間中をはじめとする交流機会の創出

事業名（所属）	事業概要	実績
東京2020ホストタウン等としての取組 （国際まちづくり推進課）	東京2020における英国のホストタウンとして、姉妹都市である英国のダービーシャーとの関係を生かし、市民に選手との国際交流等の場を提供するとともに、更なる都市の国際化を目指す。	豊田市は平成28年12月に英国のホストタウンに登録された。英国のオリンピック及びパラリンピアンが、豊田市を訪問して市民と交流ができるよう、英国女子サッカーチームをはじめ、その他の競技種目の選手についても豊田市への来訪を実現できるよう調整を行っている。
来訪外国人へのおもてなし推進 （国際まちづくり推進課）	RWC2019等に向けて、交流プログラムの展開や英語ガイドボランティアの養成など外国人をあたたかく迎えられる体制を整備し、来訪外国人の受け入れを行う。	平成28年度から、豊田市外国人おもてなし市民会議を立ち上げ、来訪外国人をおもてなしする体制構築を行ったほか、英語ガイドボランティアの募集、養成、交流プログラムの発掘による市民と来訪外国人の交流機会の創出に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> ・多言語ガイドボランティア登録者数：89人 （令和元年9月現在） ・多言語ガイドボランティア養成講座：9回 （平成28年4月から令和元年9月） ・交流プログラム登録数：306件 （平成28年4月から令和元年9月）

ビジョンの柱② ひとが活躍！

区分1 国際交流を推進する人材及びボランティアの育成

事業名（所属）	事業概要	実績
国際化に対応できる人材の育成 （国際まちづくり推進課）	海外からの来訪客が豊田市で快適に滞在できるよう、国際化に対応した人材育成事業を実施する。	<p>人材育成を行うために、以下の3つの派遣・受入れ事業を実施した。</p> <p>①デトロイト市交換学生派遣事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度10人(高校生8人、引率者2人) ・平成30年度10人(高校生8人、引率者2人) <p>②デトロイト市交換学生受入れ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度 8人(高校生6人、引率者2人) ・令和元年度10人(高校生8人、引率者2人) <p>③ダービーシャー高校生派遣事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度18人(高校生等16人、引率教諭2人) ・平成29年度17人(高校生等15人、引率教諭2人) ・平成30年度17人(高校生等15人、引率教諭2人)
RWC2019盛り上げボランティア隊の活動支援 （次世代育成課）	大会を盛り上げるため、ラグビー関連イベントでのブース出展やボランティア活動を経験する機会を設け、学生ボランティア活動に対する関心の芽を育む。	とよた学生盛りあげ隊（21人）が中京大学祭（平成30年11月2日～11月4日）と消防フェスタ（平成31年1月6日）で、大会のPRブースを出展し、ラグビー体験（キックターゲット）、フォトフレーム撮影、ラグビーVR体験を実施した。

ビジョンの柱② ひとが活躍！

区分1 国際交流を推進する人材及びボランティアの育成

事業名（所属）	事業概要	実績
<p>RWC2019の大会公式ボランティアの研修・運営及び開催都市独自ボランティア活動の実施 （ラグビーワールドカップ2019推進課）</p>	<p>大会ボランティアの研修・運営を行うとともに、ラグビーのビッグマッチ等で実施してきた経験を活かして、開催都市独自ボランティアの募集・育成・運営を行い、経験の場を創出することで、スポーツを切り口としたボランティア活動のすそ野の拡大を図る。</p>	<p>【大会に向けた準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大会に向けて平成29年5月、RWC支援ボランティア事務局を設立 事務局が実施するボランティア活動者の名称を「TRY FOR ALLスタッフ」とし、延べ473人が豊田スタジアムで開催されたラグビートップリーグや平成30年6月のラグビー日本代表戦など、大会までに計5度の活動を経験 <p>【大会期間中の活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大会公式ボランティア「TEAM NO SIDE」が大会期間中の23日間に豊田スタジアムやファンゾーン、駅前通り等で延べ2,584人が活動 開催都市が独自で募集したボランティア「TRY FOR ALLスタッフ」が、試合開催日の3日間に駅前通りや乗換主要駅等で延べ307人が活動

ビジョンの柱② ひとが活躍！

区分1 国際交流を推進する人材及びボランティアの育成

事業名（所属）	事業概要	実績
RWC2019を契機とした市民活動促進支援 （市民活躍支援課）	市民活動の機運の高まりを捉え継続を図るため、大会で活躍するボランティアや市民活動団体等を対象にした交流会などを、市民と共に企画・運営する。	令和元年7月1日、市民活躍支援課が支援を行い、市民有志の「レガシー実行委員会」が設立され、以下の事業を企画・運営した。 ①市民活動応援サイト「365とよた」立ち上げ（令和元年9月） ②ボランティアはじめ関係者が交流できる打ち上げ交流会を企画・運営し、延べ428人が参加（令和元年11月1日） ③ボランティアへの感謝と交流、次なる活躍の場の提供として、「TRY FOR Futureサンクスフェスタ」を企画・運営し、延べ約600人が参加（令和元年12月1日）

ビジョンの柱② ひとが活躍！

区分2 スポーツ推進・健康づくり

事業名（所属）	事業概要	実績
JFAこころのプロジェクト MIRAIへつなぐ 「夢の教室」 (スポーツ課)	RWC2019等を契機にスポーツに親しむきっかけづくりをするため、市内小学校の5年生を対象にアスリートが学校の授業の中で「夢を持つことの大切さ」「仲間と協力することの大切さ」を教える。	日本サッカー協会、トヨタ自動車、中京大学、豊田市の四者連携による全国唯一の産官学連携による事業展開を行っている。 ・平成28年度：43校 93クラス ・平成29年度：49校 106クラス ・平成30年度：55校 112クラス ・令和元年度：51校 112クラス

ビジョンの柱② ひとが活躍！

区分2 スポーツ推進・健康づくり

事業名（所属）	事業概要	実績
<p>ラグビーの普及 （スポーツ課）</p>	<p>安全で気軽に取り組めるラグビーの指導者を養成し、子どもたちにラグビーを普及させることで、大会に向けた機運醸成とラグビーの普及を図る。</p>	<p>【普及】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ラグビー教室（トヨタ自動車ヴェルブリッツの選手が小学生以上を対象に指導） <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度と30年度に月一回の頻度で実施 ・参加者数は2年間で延べ1,373人 ・令和元年度も11月から月1回の頻度で実施中 ○ラグビー体験会（トヨタ自動車ヴェルブリッツの選手が希望のあった市内小中学校を訪問し、授業の中でラグビーを指導） <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度:小学校3校、平成29年度:小学校39校、平成30年度:小学校38校、中学校2校で実施 <p>【指導者養成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ推進委員の養成 <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度から研修等を開始し、各種大会の審判やラグビー教室の運営、地域でのラグビーの普及等を実施 ○市内小中学校教員の養成 <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度から日本協会や県協会の講師を招き、年1回の頻度で教員向けの研修会を実施 <p>【機運醸成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ラグビーボール配布 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度に、市内小学校の4年生以上に全クラス（75校、421クラス）に対して、各クラスに1個のボールを配布

ビジョンの柱② ひとが活躍！

区分2 スポーツ推進・健康づくり

事業名（所属）	事業概要	実績
<p>豊田市わがまちアスリート応援事業 （スポーツ課）</p>	<p>RWC2019等を契機に、豊田市ゆかりのトップアスリートを「豊田市わがまちアスリート」に認定し、応援することで、市民のスポーツへの関心を高め、「する」、「楽しむ」、「支える」スポーツの推進を図る。</p>	<p>「豊田市わがまちアスリート」の認定が平成28年4月から開始し、令和元年12月現在で、宇野昌磨選手、姫野和樹選手など22人を「豊田市わがまちアスリート」に認定した。また、わがまちアスリートに協力してもらい、五輪パブリックビューイングや五輪結果報告会、豊田マラソン大会を開催し、市民のスポーツへの関心を高めた。</p>
<p>トップアスリートの派遣 （スポーツ課）</p>	<p>企業・大学の協力のもと、中学校部活動の指導者としてトップアスリートを派遣し、中学生に高度な技術や意識に触れさせる機会をつくり、ジュニアアスリートの育成を目指す。</p>	<p>【合同練習会】（複数の中学校が合同で中京大学運動部の指導を受ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度：5種目、計5回開催 ・平成30年度：5種目、計8回開催 ・令和元年度：6種目、計9回開催 <p>【中学校部活動指導】（中京大学運動部の学生を中学校に部活動の指導者として派遣する）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度：5種目、計20人派遣 ・平成30年度：5種目、計20人派遣 ・令和元年度：6種目、計24人派遣

ビジョンの柱② ひとが活躍！

区分3 学校現場での意識の醸成

事業名（所属）	事業概要	実績
<p>RWC2019等に向けた教育プログラムの開発・展開 （学校教育課）</p>	<p>RWC2019等に向け、授業プログラム（ボランティア精神やタグラグビーの普及等）を作成し、学校活動に取り入れる取組等を進める。</p>	<p>教育委員会の中で、RWC2019等に向けて設置した教育推進委員会が以下のとおり授業プログラムを作成した。</p> <p>○ボランティア精神（おもてなし、異文化理解） 社会科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間で活用できるプログラムを教育推進委員会で12案作成し、各校はこれらのプログラムを用いて学習を実施した。</p> <p>○タグラグビーの普及 タグラグビーの普及について、教育推進委員会で授業の指導案や指導の参考となる動画を作成し、体育の授業等で活用を図った。また、トヨタ自動車ヴェルブリッツの選手を学校へ派遣し、タグラグビーを行う等の選手との交流を通じて、ラグビーへの関心を深めた。（平成28年度:小学校3校、平成29年度:小学校39校、平成30年度:小学校38校、中学校2校で実施）</p>

ビジョンの柱② ひとが活躍！

区分3 学校現場での意識の醸成

事業名（所属）	事業概要	実績
<p>児童生徒参加の記念イベント及び交流事業の推進 （学校教育課）</p>	<p>児童生徒が参加する記念イベント等への活動を支援する。また、機会を捉えて、海外からの来訪者やトップアスリート等と児童生徒との交流活動を支援する。</p>	<p>○地域交流イベント（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年9月にウェールズ代表が崇化館中学校を、10月にイタリア代表が童子山小学校を訪問 ・児童生徒による国歌の斉唱など歓迎の気持ちを表すおもてなしや、ラグビー体験等を通じた選手との交流事業を実施 <p>○パラリンピック選手との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度、小学校3校と中学校2校で実施 ・パラリンピック選手を希望校へ講師として派遣し、「義足体験会」を行うことで、障害を乗り越えながらも夢をもって陸上に取り組むアスリートの活躍を伝える授業を実施
<p>RWC2019等にちなんだ学校給食の実施 （保健給食課）</p>	<p>RWC2019等の学習に関連した学校給食を実施し、学校内での啓発を行うとともに、食の視点から多文化について知識を深める活動を推進する。</p>	<p>平成30年9月から、RWC2019出場9か国の料理を学校給食で提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年 （9月）ニュージーランド （11月）イングランド ・平成31年 （1月）イタリア （3月）ウェールズ ・令和元年 （5月）ジョージア （7月）南アフリカ・ナミビア （9月）サモア （10月）日本 <p>また、令和元年7月、9月及び10月には、ラグビーボール型クッキーもあわせて提供した。</p>

ビジョンの柱② ひとが活躍！

区分4 市民等の意識の醸成

事業名（所属）	事業概要	実績
<p>市職員および市役所の率先行動に向けた取組 （ラグビーワールドカップ2019推進課）</p>	<p>RWC2019チケットの購入や大会ボランティア等への応募など、RWC2019等を推進する自治体や職員として率先した行動を起こす。</p>	<p>○RWC大会公式サポーターズクラブ ・「RWC大会公式サポーターズクラブ」の登録を全庁に呼びかけ、9割を超える職員が登録</p> <p>○RWC大会PR活動 ・大会をPRするマグネットシートを作成し、平成31年1月から、公用車やごみ収集車約300台に貼付</p> <p>○ポロシャツ ・平成27年度から、RWC2019開催都市ロゴマークがデザインされたポロシャツを作成し、クールビズの期間に着用（白、黒、グレー、ネイビー）</p> <p>○名札シール ・令和元年5月から11月まで、RWC2019開催都市ロゴマークシールを名札へ貼付</p>
<p>「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」への参加 （ごみ減量推進課）</p>	<p>東京2020で使用される全てのメダルを使用済み小型家電から製作することを目指すプロジェクトに参加し、市民に呼び掛けることによって、小型家電のリサイクルを通じて市民一人ひとりが東京2020に参画する機会を提供するとともに、豊田市民のリサイクル意識の更なる向上と定着を図る。</p>	<p>平成29年度から平成30年度の2年間で、小型家電の提供が211,139キログラムあり、市民のリサイクル意識が向上した。</p>

ビジョンの柱② ひとが活躍！

区分4 市民等の意識の醸成

事業名（所属）	事業概要	実績
おいしく残さず食べきろう！2019（にいまる いちきゅう）運動の推進（ごみ減量推進課）	大会の機運の醸成を図りながら、食品ロス（食べられるのに捨てれる「もったいない」食品）の削減を目指す「2019運動」（※）に取り組む。 ※食品ロスが多量に発生する飲食店での会食、宴会時の食品ロスを削減するため、宴会開始の20分間と、終了前の19分間は、自席で料理を楽しみ、食べきることを推奨する運動	「2019運動」を推進するためトヨタ自動車ヴェルブリッツの選手の協力のもと啓発ポスターを作成し、駅前の飲食店等を中心に掲示し啓発を行った。（協力店舗：約200店舗）

ビジョンの柱③ まちが変わる！

区分1 まちの魅力向上

事業名（所属）	事業概要	実績
豊田市駅東口駅前・まちなか広場の整備 （都市整備課）	豊田市駅東口に飲食や集会などができる広場空間を整備し、提供することで来街者の滞留、回遊を促進し、都心の賑わいを創出する。	令和元年9月20日に豊田市駅東口まちなか広場(愛称：とよしば)の整備を完了し、供用を開始した。 ・拠点施設(木造地上1階建て、延床面積177㎡) ・芝生広場(面積564㎡) また、試合開催日には、おもてなしイベントにおいてステージ等として活用された。
新豊田駅東口駅前広場等の整備 （都市整備課）	新豊田駅東口の交通結節機能の強化と賑わいの創出のため、バス・一般車の乗降場等及び広場を再整備する。	平成31年4月1日に駅前広場（「新とよパーク」）の再整備を完了し、供用を開始した。なお、令和元年8月19日に、一般社団法人国土政策研究会が立ち上げた「第5回まちなか広場賞」の特別賞を受賞した。
豊田市駅前通り北地区市街地再開発の推進 （都市整備課）	北地区再開発ビル「KiTARA」を起点とした、新たな交流核の形成による賑わいの創出や防災機能の向上による都心の整備改善を図る。	平成29年11月25日に時間消費型アミューズメント施設としてシネマコンプレックスを核とした再開発ビル「KiTARA」をグランドオープンした。 また、(都)昭和町線などの市道における公共施設整備について、平成30年10月に道路拡幅・歩道設置と並行して電線類の地中化、歩道の高質空間整備を完了した。
豊田市駅東口ペDESTリアンデッキの延伸・整備 （都市整備課）	名鉄豊田市駅東口デッキを延伸整備（GAZA～KiTARA）し、来街者の安全で快適な通行空間の確保と回遊性の向上を図る。	デッキ延伸整備は令和元年5月24日に完了し、供用を開始した。

ビジョンの柱③ まちが変わる！

区分1 まちの魅力向上

事業名（所属）	事業概要	実績
公衆無線LAN（フリーWi-Fi）の整備 （企画課）	大会を契機として、来訪者の利便性向上のため、官民一体となって、豊田スタジアム等の集客施設や観光地等に無料公衆無線LANの利用環境を整備・拡大する。	官民一体となり、豊田市駅周辺から豊田大橋までの区間をはじめ、市内265箇所に豊田市無料公衆無線LAN「Toyota City free Wi-Fi」を整備した。
公共交通機関におけるICカード導入 （交通政策課）	来訪者の市内公共交通の利便性向上のため、ICカード決済システムが未導入である愛知環状鉄道に対して導入を支援する。	平成31年3月2日にICカード決済システムを導入した。
おいでんバス車内Wi-Fi環境整備 （交通政策課）	来訪者の移動しやすい環境づくりのため、一部のおいでんバス車内にWi-Fi環境を提供する。	来訪外国人向けに以下のWi-Fi環境を提供した。 ・平成30年度 さなげ足助線：10台（11月のみ利用可） 小原豊田線：7台（11月のみ利用可） ・令和元年度 さなげ足助線：10台（9月から11月のみ利用可） 小原豊田線：7台（11月のみ利用可）

ビジョンの柱③ まちが変わる！

区分1 まちの魅力向上

事業名（所属）	事業概要	実績
<p>まちなか広場空間の活用 （商業観光課）</p>	<p>中心市街地にある公共空間（まちなか広場）において、「あそべるとよたDAYS」等により、空間活用の使い手、担い手の発掘育成を行う。 大会関連イベントにおけるまちなか広場の活用策を検討する。</p>	<p>大会期間中の活用実績は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①令和元年9月23日 <ul style="list-style-type: none"> ・ WELCOMEとよたフェスタ（GAZA南広場） ・ RWC WELCOMEイベント （ペDESTリアンデッキ広場） ②令和元年9月27日 <ul style="list-style-type: none"> ・ あそべるとよたナイト（参合館前広場） ③令和元年9月27日～10月5日 <ul style="list-style-type: none"> ・ THE BEER & FARM Toyota （GAZA南広場） ④令和元年9月28日 <ul style="list-style-type: none"> ・ 音子島フェス2019 （ペDESTリアンデッキ広場、シティプラザ、 豊田市駅西口デッキ下） ⑤令和元年10月5日 <ul style="list-style-type: none"> ・ トヨタフェスティバル （ペDESTリアンデッキ広場、豊田市駅西口デッキ下）
<p>ウェルカムショップ事業の推進 （商業観光課）</p>	<p>大会開催にあたり、外国人の受入れに取り組む店舗を支援する。</p>	<p>大会の来訪者に対して、豊田市中心市街地に店舗を構える76店舗等が、コミュニケーションシート（3,194枚配布）やピクトグラムステッカー（754枚配布）を活用して、おもてなしの対応を実施した。</p>

ビジョンの柱③ まちが変わる！

区分1 まちの魅力向上

事業名（所属）	事業概要	実績
マンホール蓋を活用した情報発信 （下水道建設課、下水道施設課）	豊田市駅前から豊田スタジアムまでの歩道にあるマンホール蓋のデザインを、イベント時期に合わせて交換し、下水道に対するイメージアップと下水道に関心を持ってもらうとともに、歩いていて楽しい歩行空間を創出する。	大会期間中を含めた、令和元年8月16日から11月8日で、県道豊田市停車場線歩道内の22か所にRWC2019デザインのマンホール蓋を設置した。
都心地区における路上喫煙・ポイ捨ての防止 （清掃業務課）	都心における路上喫煙及びポイ捨ての防止に取り組み、環境に配慮したまちの実現を目指す。	平成31年3月1日から、豊田市駅周辺を路上喫煙禁止区域に指定し、適宜、指導員による巡回指導を実施した。一方で、6か所に喫煙所の設置を行った。
矢作川水辺プロジェクト （公園緑地整備課、河川課）	水辺の新しい活用の可能性検討や水辺とまちが一体となった美しい空間づくりを行い、都心に近い水辺の自然環境という豊田市の魅力を広く発信し、都心への来訪者や観光客の増加につなげる。	矢作川かわまちづくり計画に基づく白浜公園のリニューアル工事、水際整備及び河床再生工事が終了した。また、試合開催日に千石公園及び白浜公園において、河川空間の魅力を市内外に発信する矢作川フェスタを実施した（FMXショーケース、アフリカ音楽、日本の伝統踊り、写真スポットの提供など）。実施した3日間（1日は台風で中止）で8,500人が来場した。
豊田スタジアムの整備 （スポーツ課、公共建築課、建築予防保全課）	RWC2019の試合会場として必要とされる各種整備を実施する。	豊田スタジアムの主な整備として、2基目の大型映像装置設置、ピッチ照明設備、ピッチ音響設備、手すりなどの改修を実施した。

ビジョンの柱③ まちが変わる！

区分1 まちの魅力向上

事業名（所属）	事業概要	実績
豊田スタジアムの園路整備 （スポーツ課、公園緑地整備課）	大会に向けて、豊田スタジアムの園路舗装を改修する。	豊田スタジアムの園路舗装の老朽化を改善するとともに、大会及びスポーツイベント等の公園利用者の安全及び利便性を図るため改修を実施した。

ビジョンの柱③ まちが変わる！

区分2 「アートにあふれたまち」の推進

事業名（所属）	事業概要	実績
2020年豊田国際紙フォーラムの開催 （小原支所）	豊田小原和紙の普及発展と本市の国際化、集客、活性化を図るため、2020年に国際的な紙のアート展やシンポジウムなどを実施する。	令和2年度の国際的な紙のアート展やシンポジウムなどの実施に向けて準備を行った。また、平成30年度から国際紙フォーラム実行委員会を立ち上げ、令和元年12月現在で計4回委員会を実施した。
あいちトリエンナーレ2019 （文化振興課）	現代アートの国際芸術祭として、美術作品の展示や体験機会の提供により、市民の文化芸術への理解と関心を高め、日常生活への浸透を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年8月1日から10月14日の75日間、豊田市美術館及び豊田市駅周辺7か所で現代アート作品の展示等を実施 ・延べ121,687人が来場 ・ボランティア174人（延べ1,262人）が活動 ・豊田会場を盛り上げるための市民団体「とよトリ隊」（登録者51人）が発足 ・平成30年度には、機運醸成のためイベントとして「地域展開事業」を実施

ビジョンの柱③ まちが変わる！

区分2 「アートにあふれたまち」の推進

事業名（所属）	事業概要	実績
東京キャラバンin豊田の開催 （文化振興課）	東京2020公認文化プログラム「文化オリンピック」として実施されてきた東京キャラバンを豊田市で開催し、市民の文化への関心と参加意識の向上を図る。	○メインイベント ・平成30年7月22日、鞍ヶ池公園プレイハウス芝生広場で実施 ・延べ550人が来場 ○プレイベント ①リーディングアーティストである近藤良平のプロデュースにより、全国的なアーティストと豊田の様々な活動者がコラボレーションした創作パフォーマンスを披露 ②ペDESTリアンデッキ上にてプレイベントを実施し、延べ1,450人が来場（平成30年3月18日） ③創作ワークショップを前林交流館にて実施（平成30年6月16日、17日）

ビジョンの柱③ まちが変わる！

区分2 「アートにあふれたまち」の推進

事業名（所属）	事業概要	実績
<p>市民によるアートプロジェクトの推進 （文化振興課）</p>	<p>大会に向けて、市民が運営する文化芸術に関するプロジェクトを推進し、文化事業に関わりながら地域に貢献できる体制や活動の場を構築する。</p>	<p>○とよたデカスプロジェクト ・令和元年8月1日から11月2日の間、市民が主体となり、大会を意識したアートプロジェクトをまちなかで4件実施 ・約3,500人が来場</p> <p>○とよた市民アートプロジェクト ・令和元年8月から10月の間、高校跡地や旧ビジネス旅館において、展覧会等のアートイベントを実施 ・約19,000人が来場</p> <p>○とよたアートプログラム2019 ・とよたデカスプロジェクトやとよた市民アートプロジェクト等の大会期間中に実施された事業を「とよたアートプログラム2019」として集約し、市民自らが月刊の広報誌とウェブサイトで発信する仕組みを構築</p>

ビジョンの柱③ まちが変わる！

区分3 安全・安心・快適なまちの推進

事業名（所属）	事業概要	実績
民間宿泊施設のトイレ洋式化の補助 （商業観光課）	国内外からの多様な旅行者が滞在時の快適性及び観光地の魅力向上を図るため、宿泊施設が客室等の和式トイレを洋式化するための整備費用を支援する。	旅館やホテル等7施設について、整備を実施した。 ・平成30年度 6施設 補助率：対象経費の2分の1 ・令和元年度 1施設 補助率：対象経費の2分の1
公共施設トイレにおけるバリアフリー化 （企画課・公共建築課 他）	観光施設等の市内公共施設におけるトイレについて、洋式化を始めとしたバリアフリー対応や快適性、利便性の向上を図るため、改修を行う。	平成30年度までに、百年草など観光施設等の35施設のトイレ洋式化を始めとしたバリアフリー改修を実施した。
小中学校における施設環境の改善 （学校づくり推進課）	学校を安全・安心で快適により長期に使用するために、施設的环境改善を行うとともに、RWC2019等において、海外トップアスリート等が安心・快適に滞在し、児童生徒との交流をより深めるため、整備を進める。	平成28年4月から令和元年10月の間で46校のトイレ再整備を実施した。また、5校について、エレベーターの設置等のバリアフリー化を実施した。
ユニバーサルデザインタクシーの普及促進 （交通政策課）	市内タクシー事業者に対するユニバーサルデザインタクシー車両の購入費助成により、高齢者、障がい者、訪日外国人など誰もが快適に移動できる交通環境の整備を推進する。	市内タクシー業者5社に対して、ユニバーサルデザインタクシー12台の導入助成を実施した。 ・令和元年度 補助率：10%
大規模イベント開催時におけるテロ災害対策 （警防救急課）	世界各地でテロ災害が発生している中、爆弾テロ等に対する体制強化が必要とされているため、庁内部局、市内関係機関との連携を図り、大規模イベント開催時における消防・救急体制を構築する。	大会期間中はテロ災害の未然防止、災害発生時における的確な消防活動の実施を目的とし、消防特別警戒体制をとった。 うち、試合開催日については、各日約100名体制で、豊田スタジアムをはじめとする関連エリアにて警戒にあたった。

ビジョンの柱③ まちが変わる！

区分3 安全・安心・快適なまちの推進

事業名（所属）	事業概要	実績
東京2020等特別委員会及び作業部会、RWC2019消防対策協議会への参画（（消）総務課）	万全な消防警戒体制の確立を図るため、国、県及び関係機関と密接な調整を図った。	平成28年度からの各委員会・部会・協議会への参加実績は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等特別委員会等5回参画 ・ラグビーワールドカップ2019作業部会等2回参画 ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会及びラグビーワールドカップ2019合同消防対策協議会等9回参画
119番通報体制の充実（指令課）	豊田市在住及び豊田市を訪れる外国人に対し、不安なく119番通報ができるよう、多言語コールセンターの周知を図る。また、音声以外の119番通報など、新たな通報手段を確保する。	【多言語コールセンターの充実と周知】 <ul style="list-style-type: none"> ・大会期間中の9月～11月の間、多言語コールセンターの対応言語を通常の5言語から15言語に拡大し、ヨーロッパや東南アジアからの来訪者への対応を行った。また、消防車や救急車の要請は119であること、外国語でも通報ができることを、中部国際空港や市内の鉄道の主要駅、ホテルなどでポスターなどを掲示し普及啓発を実施した。 【新たな通報手段】 <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年10月から、携帯端末（携帯電話やスマートフォン等）を使用してインターネット回線から119番通報が可能な「Net119緊急通報システム」の運用を開始した。

ビジョンの柱③ まちが変わる！

区分3 安全・安心・快適なまちの推進

事業名（所属）	事業概要	実績
愛知県国民保護共同実動訓練の実施 （防災対策課）	爆破や不審物発見などの緊急対処事態に対する対処能力の向上を図るため、関係機関の参加を得て、図上及び実働で訓練を行い、その成果をRWC2019等に活かす。	警察や消防本部をはじめ、関係機関とともに、爆破や不審物発見などの緊急対処事態を想定した訓練を平成31年1月11日に実施した。
RWC2019における危機管理体制の検討 （ラグビーワールドカップ2019推進課）	豊田スタジアム、スカイホール豊田、ラストマイル等大会に関連する危機事案に対する迅速・的確な対応を行い、来場者、大会関係者、市民の安全を確保するため危機管理体制を検討し、構築する。	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理部会を計6回実施 （部会メンバー:ラグビーワールドカップ2019推進課、防災対策課、(保)総務課、保健衛生課、感染症予防課、警防救急課、予防課) ・部会では、危機管理体制を検討し、構築 ・試合開催日等において、市災害対策本部が「ラグビーワールドカップ特別チーム体制」を、市消防本部が「ラグビーワールドカップ2019TM消防特別警戒体制」を運営
RWC2019開催会場、宿泊施設等の火災予防対策 （予防課）	大会の開催にあたり、会場、宿泊施設等における火災等の発生を未然に防止するとともに、災害発生時の初動体制を確立する。	市内の宿泊施設（136か所）及び観光施設（37か所）と駅前から会場までの飲食店等（205か所）の立入検査を行い消防法令の適合を促した。また、駅前通り周辺の大規模商業施設等（9か所）に消防訓練指導を行い、災害発生時の初動体制を確立した。
RWC2019に伴う感染症発生動向調査の強化 （感染症予防課）	海外からの来訪者の増加に伴う輸入感染症発生増加に対し、感染症発生動向調査等の対応を行う。	疑似症発生状況の把握に有用な医療機関として従来の3医療機関に1医療機関を加え、大会期間中感染発生状況の確認を毎日行った。

ビジョンの柱③ まちが変わる！

区分3 安全・安心・快適なまちの推進

事業名（所属）	事業概要	実績
RWC2019に伴う観光客増加等による新型インフルエンザ等発生時の対応強化 （感染症予防課）	海外からの来訪者の増加に伴い危険度が増加する新型インフルエンザ等の発生時に対応できるよう資材の確保等準備をする。	患者移送用陰圧装置を新たに1セット購入した。また、市内消防署において、患者移送用陰圧装置を用いた使用訓練を実施した。
防犯カメラの設置による市民、来訪者等の安全・安心の確保 （都市整備課、スポーツ課）	大会の開催にあたり、豊田スタジアム（試合会場）や駅から会場までの動線等の公共空間に防犯カメラを設置し、市民の安全・安心を確保するとともに、来訪者にも安心して豊田市を楽しんでいただける体制を整備する。	豊田スタジアム内に防犯カメラを117台設置した。また、平成31年3月1日から喜多町3丁目交差点をはじめ、5カ所（計10台）に防犯カメラを設置した。

ビジョンの柱③ まちが変わる！

区分3 安全・安心・快適なまちの推進

事業名（所属）	事業概要	実績
（幹線道路推進課） 国道153号豊田北バイパス平戸大橋区間の 新設整備 国道301号野見山工区の拡幅整備 （都）豊田則定線（高橋）の拡幅整備 （街路課） （都）平戸橋土橋線の整備 （都）梅坪堤線の拡幅整備	大会に向けて、左記の道路整備を実施し、人・ものが安全で円滑な移動を実現する道路ネットワークの一層の強化を図る。	大会までに左記の道路整備が完了した。大会期間中の道路混雑は特になく、シャトルバス運行の定時性を確保するなど、安全で円滑な移動に寄与した。
寺部土地区画整理事業の推進 （寺部区画整理事務所）	豊田スタジアムへのアクセス道路として、寺部土地区画整理地区内の都市計画道路を暫定整備する。	（都）豊田則定線及び（都）寺部御立線を暫定整備した。事業対象箇所については、渋滞など大きな問題はなかった。
豊田スタジアム周辺及びアクセス道路の交通安全対策の実施 （交通安全防犯課）	大会の開催に向け、豊田スタジアム周辺及びアクセス道路の交通安全対策（主に区画線）を面的に実施する。	豊田市上野町ほか地内における区画線の修繕を9箇所実施した。

ビジョンの柱④ まちを魅せる！

区分1 シティプロモーション

事業名（所属）	事業概要	実績
豊田市PR動画による魅力発信 （市政発信課）	豊田市PR動画を活用したプロモーションを国内外に向けて行うことで豊田市の魅力を発信し、交流人口の増加・拡大を図る。	PR動画「こんな豊田市知らなかった」をYouTubeに掲載するとともに、大会期間中には、ファンゾーンやおもてなしイベントで放映した。 （YouTube視聴回数は、平成29年10月から令和元年12月の間で約260万回）
多言語ウェブサイト「VISIT TOYOTA CITY」を活用した海外への情報発信 （市政発信課、ツーリズムとよた、ラグビーワールドカップ2019推進課）	多言語ウェブサイト「VISIT TOYOTA CITY」を活用し、外国人向けの情報発信の充実を図るとともに、豊田スタジアムで対戦する国へ当該サイトをPRすることで、海外からの誘客を促す。	国内外への情報発信を充実させるため、「VISIT TOYOTA CITY」に掲載されている情報（観光情報、RWC2019情報）のうち、観光情報部分をツーリズムとよたHPに統合させ、RWC2019に関する情報部分を豊田市公式ホームページのRWC専用ページに移管させた。また、豊田市公式ホームページのRWC専用ページについては、翻訳ページ（英語・イタリア語・ジョージア語）の作成を行った。

ビジョンの柱④ まちを魅せる！

区分1 シティプロモーション

事業名（所属）	事業概要	実績												
<p>RWC2019におけるおもてなしイベントの実施 （経営戦略課、ラグビーワールドカップ2019推進課）</p>	<p>大会開催時に外国人を含む来訪者に対し、愛知県・豊田市の産品や産業、観光などをPRするイベントを、市民の参画を得て実施し、大会を盛り上げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・試合開催日に実施 ・行政、民間の様々な団体が飲食物等の販売や体験イベント、ステージイベントを実施 ・延べ107,300人が来場 ・「とよしば」で行われたステージイベントでは、豊田市の市民団体15団体がパフォーマンスを実施 ・令和元年9月20日から10月11日の間で、「イタリア・ニュージーランドラグビー博物館 特別展」を松坂屋豊田店で実施し、延べ13,000人が来場 ・大会期間中に豊田市美術館で開催された「クリムト展 ウィーンと日本1900」と連携して大会のPRを実施 ・観戦客へのおもてなしとして、豊田参合館の壁面装飾やとよたおいでんバス（3台）のラッピングを実施 ・おもてなしイベントの実施場所は以下のとおり <table border="1" data-bbox="1451 884 2047 1174"> <thead> <tr> <th>実施場所</th> <th>イベント名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とよしば</td> <td>「おもてなしステージ」</td> </tr> <tr> <td>GAZA南広場 駅前通り</td> <td>「WELCOMEとよたフェスタ」 「Toyota Street Market」&「Bear&Farm Toyota」 （上記の2つのイベントを日替わりで実施）</td> </tr> <tr> <td>駅東口ロータリー</td> <td>「出張エコフルタウン」</td> </tr> <tr> <td>豊田参合館</td> <td>「まるごととよた展」 「おいでんアートおもてなしフェア2019」</td> </tr> <tr> <td>矢作川河川敷</td> <td>「矢作川フェスタ」</td> </tr> </tbody> </table>	実施場所	イベント名	とよしば	「おもてなしステージ」	GAZA南広場 駅前通り	「WELCOMEとよたフェスタ」 「Toyota Street Market」&「Bear&Farm Toyota」 （上記の2つのイベントを日替わりで実施）	駅東口ロータリー	「出張エコフルタウン」	豊田参合館	「まるごととよた展」 「おいでんアートおもてなしフェア2019」	矢作川河川敷	「矢作川フェスタ」
実施場所	イベント名													
とよしば	「おもてなしステージ」													
GAZA南広場 駅前通り	「WELCOMEとよたフェスタ」 「Toyota Street Market」&「Bear&Farm Toyota」 （上記の2つのイベントを日替わりで実施）													
駅東口ロータリー	「出張エコフルタウン」													
豊田参合館	「まるごととよた展」 「おいでんアートおもてなしフェア2019」													
矢作川河川敷	「矢作川フェスタ」													

ビジョンの柱④ まちを魅せる！

区分1 シティプロモーション

事業名（所属）	事業概要	実績
豊田スタジアムで対戦する国への誘客活動 （ラグビーワールドカップ2019推進課）	豊田スタジアムで対戦する国への訪問や、豊田市の観光PR等を行うことで、誘客のための働きかけを行う。	ニュージーランドをはじめ、豊田スタジアムで試合を行う国へ市長・議長がトップセールスを行い、豊田市の魅力等について各国でPRを実施した。特に、イタリアにおけるトップセールスでは、イタリアラグビー博物館を訪れたことを契機に、「イタリア・ニュージーランドラグビー博物館 特別展」の開催が実現した。

ビジョンの柱④ まちを魅せる！

区分2 未来を先取る活力ある都市の発信

事業名（所属）	事業概要	実績
コミュニティバスにおける次世代車両の導入 （交通政策課）	大会に向けて、基幹バス路線に燃料電池バス等の次世代車両を導入し、先進的な公共交通をPRする。	令和元年度に燃料電池バスを計4台導入した（とよたおいでんバスに3台、公用車に1台）。また、試合開催日には、4台のうち2台を、おもいやりシャトルとして活用するとともに、1台を豊田市駅東口ロータリーに展示した。
超小型EVシェアリング等の導入 （未来都市推進課）	大会に向けて、外国人を始めとする来訪者にも利用しやすい超小型EV「コムス」のシェアリングを導入する。	超小型EV「コムス」のシェアリングサービスHa:mo RIDEを活用し、レストえきまえ内での窓口にて、シェアリングサービスの案内を実施した。また、令和元年8月から11月には、同じくレストえきまえ内の窓口やウェブサイトにて、国際免許を取得している外国人観光客に向けて、Ha:mo RIDEを活用した観光プランを案内した。
パーソナルモビリティのシェアリング導入 （未来都市推進課）	大会に向けて、中心市街地等の回遊性を高めるパーソナルモビリティの実証事業を継続して実施し、実用化をめざす。	試合開催日に、豊田市駅東充電施設周辺で、座り乗り型の歩行領域EVを用いた体験試乗会を実施した。
先端技術を活用した市の取組のPR （未来都市推進課）	リニューアルしたとよたエコフルタウンを中心に、持続可能な未来の姿を提示するとともに、AIやIoTなど先端技術を活用した豊田市の先進性を国内外へPRする。	試合開催日に合わせて、豊田市駅東口ロータリーにて、リニューアル後のエコフルタウンの展示物を中心に先端技術等のPRを実施した。

ビジョンの柱④ まちを魅せる！

区分2 未来を先取る活力ある都市の発信

事業名（所属）	事業概要	実績
SDGs未来都市としてのプロモーション （未来都市推進課）	大会開催時において、国内外に対してSDGs未来都市としてのプロモーションを行う。	ファンゾーンにてSDGsのコンセプトブックの配布等の啓発活動を行い、国内外に対してSDGs未来都市としてのプロモーションを行った。
豊田スタジアムにおける地域エネルギーの活用 （未来都市推進課）	大会開催時において、豊田スタジアムに地域産のエネルギーを提供するとともに、その仕組みをPRすることで、SDGs未来都市としてのプロモーション活動を行う。	令和元年度から、渡刈クリーンセンターから豊田スタジアム及びスカイホール豊田へ「地産地消電力」の供給を開始している。

ビジョンの柱④ まちを魅せる！

区分3 観光プロモーションの推進

事業名（所属）	事業概要	実績
<p>スポーツを活かしたまちづくりの推進 （スポーツ課）</p>	<p>豊田市のスポーツ施設で開催される国際・全国大会に集まる選手や来訪者に豊田市の魅力を感じてもらい、観光・飲食・宿泊・イベントなどを通して、まちなかや山村地域などの活性化を目指す。</p>	<p>○WE LOVE サッカー・豊田ゲームス2019</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年4月27日、28日に名古屋グランパスとの共催により実施 ・Jクラブのアカデミークラス（小学4,5年生）の選手やチーム関係者247名及びその保護者等の市内宿泊・飲食等により、経済波及効果として約660万円を試算 ・4月27日に、参加した小学生の保護者向けに実施した交流会の中で豊田市の観光スポットをPRする等、豊田市の魅力を発信する取組を実施 ・令和2年以降も継続開催予定 <p>○豊田国際体操競技大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年12月14日、15日にスカイホール豊田ロビーにおいて来場者のおもてなしとして多数の出店を調整（全29店舗） ・飲食や土産物販売強化を通じて、豊田市の特産品等のPRを実施

ビジョンの柱④ まちを魅せる！

区分3 観光プロモーションの推進

事業名（所属）	事業概要	実績
<p>観光の産業化に向けた新たな展開の推進 （商業観光課、ツーリズムとよた）</p>	<p>訪日外国人に受け入れられる観光商品の開発と、大会開催前後のPRを徹底することで、本市のインバウンド施策につなげていく。</p>	<p>【観光商品の開発】 ①観光タクシープラン⇒造成7コース ②KDDI翻訳タクシー⇒利用8件 ③グルメスタンプラリー＆クーポン ⇒・スタンプラリー景品交換 43人 ・クーポン開封 2,216人</p> <p>【大会開催前のPR】 ①ツーリズムとよたHP及びSNS等による多言語情報の発信（連携） ⇒・多言語HP（英・中）閲覧数前年同月比 令和元年7月から10月で276% ・多言語facebook（英・中）ファン増加数 令和元年7月末から10月末で50,814人増加 （令和元年7月末時点でのファン数は103,812人）</p>
<p>民泊サービスなど適法な運営に向けた啓発・勉強会の開催 （商業観光課）</p>	<p>民泊サービスや農業体験民宿を希望する者を対象に、運営のルールを学ぶ勉強会を開催し、適法に経営できるよう啓発・支援する。</p>	<p>勉強会の参加希望は無かった。ただし、電話等の民泊開業に関する問合せに対して個別対応を実施した。</p>
<p>美味しいとよたのPR （農政課）</p>	<p>RWC2019等関連行事にて、豊田市のブランド農産物をトップアスリートに贈呈し、PRを図る。</p>	<p>名古屋グランパスの選手(令和元年8月10日、桃)、ラグビー日本代表選手(8月29日、新米・梨)、ウェールズ代表選手(9月20日、梨)、イタリア代表選手(10月6日、梨)に対し農産物を贈呈した。</p>

ビジョンの柱④ まちを魅せる！

区分3 観光プロモーションの推進

事業名（所属）	事業概要	実績
<p>地産地食の推進「とよたを食べよう」 （農政課）</p>	<p>地産地食応援店（飲食店）に、豊田産農産物を使った特別メニューを期間限定で提供してもらうことで、地産地食の推進を図る。</p>	<p>地産地食応援店である3ホテル（ホテルトヨタ キャッスル、名鉄トヨタホテル、ホテルフォレスト）が、市内農産物を使用した料理・スイーツを開発し提供する「とよた地産地食フェア」（令和元年9月1日から10月31日）を連携して実施した。</p>
<p>とよた食と農ビジネススクールでのお土産作成 （農政課）</p>	<p>訪日外国人を主な対象とする豊田産農産物を使用したお土産を作成し、豊田市の魅力を市外、海外へ発信する。</p>	<p>試合開催日に、参合館内の「まるごととよた展」にて、豊田産農産物やそれらを使用した6次産業化商品等の販売を行い、市内外の来訪者にブランド商品等の豊田市の魅力を発信した。</p>
<p>とよたの和のプロモーション （国際まちづくり推進課）</p>	<p>豊田市の持つ魅力の中でも、とくに「和」に特化したコンテンツを発信することで、海外からの来訪者に市内での滞在を楽しんでもらう。</p>	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KITARAオープニングイベントでの着物体験等の日本文化体験 ・おいでんまつりでの浴衣着付け ・産業フェスタでの着物、甲冑体験 <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内4酒蔵をPRする動画を制作 ・ファンゾーンで日本酒の試飲を実施 （令和元年10月20、27日、11月2日）

ビジョンの柱④ まちを魅せる！

区分3 観光プロモーションの推進

事業名（所属）	事業概要	実績
外国語観光マップの製作 （商業観光課、ツーリズムとよた）	小原四季桜や香嵐渓などの主要観光地をはじめ、バスなど公共交通の乗り方などを掲載した、外国人にとって利便性の高い外国語の案内マップ（全市版・中心市街地版）を製作する。	豊田市が発行している3つのマップ（豊田市中心市街地多言語観光案内マップ（8言語対応）、松平観光ガイドマップ（英語版）、豊田市観光ガイドマップ（英語・中国語版））の多言語化を進め、ファンゾーン及びインフォメーション、市内公共施設で配架した。
主要観光地における案内看板・標識等の多言語化推進 （商業観光課、足助支所）	外国人来訪客が豊田市で安心・快適に滞在できるよう、主要観光地における案内看板・標識の外国語対応の推進及び整備を図る。	【平成30年度】 ・多言語看板整備基数：89基 ・地区：松平、猿投、藤岡、稲武、小原、下山、旭 【令和元年度】 ・多言語看板整備基数：32基 ・地区：足助
都心における案内看板・標識等の再整備 （都市整備課）	外国人を含めた多様な来街者が豊田市で安心・快適に滞在できるよう、主要観光地におけるサイン施設の新設、更新を行う。	新豊田駅～豊田スタジアム・スカイホールへの動線等のサイン施設30基について新設、更新を行った。

ビジョンの柱④ まちを魅せる！

区分3 観光プロモーションの推進

事業名（所属）	事業概要	実績
交通案内サービスの推進 （交通政策課）	みちなびとよた等の内容見直し及び民間ウェブサイトの活用により、外国人来訪者にとって分かりやすく、円滑な移動を提供する。	○みちなびとよた ・RWC2019特設ページを開設し、会場へのシャトルバス、鉄道での移動方法の検索を可能にした。 アクセス数：約4,400件 （令和元年9月7日～10月12日） ○民間ウェブサイトの活用 ・平成31年4月から、Googleマップによる経路検索を、新たにおいでんバスも含め日・英語で行えるようにした。

ビジョンの柱④ まちを魅せる！

区分4 大会期間中のおもてなし推進

事業名（所属）	事業概要	実績
緑につつまれた都心の創出 （公園緑地整備課）	来街者が都心で快適に滞在できるよう、緑あふれる空間の演出を図る。	大会までに緑化モデル施設を作製し、豊田スタジアムまでの沿線（白浜公園の橋詰広場）に設置することで、緑に包まれた休憩施設及び写真スポットとして活用した。
フラワーロード・スタジアムアベニューの整備 （公園緑地管理課）	大会に向けて、豊田市停車場線において緑と花であふれる空間を演出することで、大会観戦客を含む来訪者へ快適な滞在時間を提供する。	KiTARA及びコモ・スクエア周辺に、壁面緑化機材2基、花飾り機材（ワイヤーバスケット30基、写真スポット1箇所）等を設置し、来訪者へ緑と花によるおもてなしを行った。